

帶広  
音更  
士幌  
上士幌  
鹿追  
新得  
清水  
芽室  
中札内  
更別  
大樹  
広尾  
幕別  
池田  
豊頃  
本別  
足寄  
陸別  
浦幌

# 十勝管内事業概要

令和元年度

Tokachi 2019

あしたを創る 北の知恵  
北海道開発局



「世界の北海道」を目指して  
**帯広開発建設部**

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目  
第2地方合同庁舎



ホームページ  
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



ツイッター  
[https://twitter.com/mlit\\_hkd\\_ob](https://twitter.com/mlit_hkd_ob)

# 事業の推進方針

帯広開発建設部では、第8期北海道総合開発計画に基づき、十勝の魅力ある価値の創造を目指して事業を推進しています。

十勝地域は、雄大な景観が多くの観光客を呼び、地元で収穫される農水産物は安全・安心・美味しさを誇り国内外の需要は高まっています。これまでに先人が培ってきた資源を活かし、また持続的に発展させるためには、農水産業の生産の場となる「生産空間」を維持し、市街地や観光の場、輸送拠点を効果的に結びつけた十勝圏域全体を見渡した社会資本整備が必要です。治水・道路・農業・港湾・漁港の充実・強靭化によるハード的な側面はもとより、整備されたインフラをより効果的に活用していくためのソフト面の充実を図っていきます。海外からの旅行者のため外国語表記やユニバーサルデザインによる情報の発信を進めることや、道の駅を活用したマーケットを開催し、観光客の広域的な移動・交流を促すことで地域の連携を深めることも施策の一環です。また、かわまちづくりやサイクルツーリズムを通じ十勝の景観を楽しむ機会を提案する一方で、大雨災害を想定した情報の配信や命を守るための訓練も地域と協働して行っています。

地域の価値を創造するという観点から、北海道開発局では「生産空間」に住み続けられるための施策を検討するためのモデル地域のひとつとして十勝南地域を選定し、農業の持続的発展や地域交通の利便性向上に取り組んでいます。今後、モデル地区以外の地域においても同様の取組を開始する予定です。

帯広開発建設部では、十勝に住む皆さん、訪れる方々とともに、未来を育んでいく社会資本整備に取り組んでまいります。

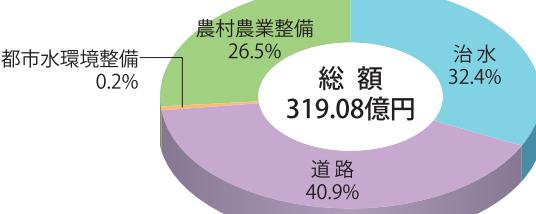
## 帯広開発建設部事業費総括表

事 項	事 業 費
治 水	10,330百万円
道 路	13,042百万円
都 市 水 環 境 整 備	68百万円
農 業 農 村 整 備	8,468百万円
計	319.08億円

※1.農業農村整備を除き、工事諸費は含まれていない。

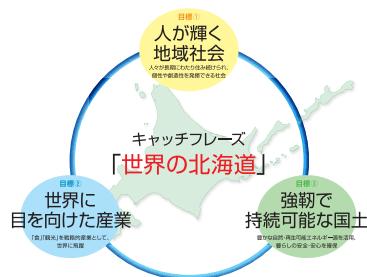
※2.四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

### ●事項別構成比



※、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## 「世界の北海道」を目指して —北海道総合開発計画—



## 十勝をつなぐ「生産空間」を支える社会資本整備

### ～総合的な視野に立った社会資本整備によって、農業王国十勝の発展に寄与しています(小麦の例)～

十勝管内では約27万tの小麦が収穫され、全国シェアの約30%を誇ります。当管内で収穫された小麦のみならず、オホーツク管内で収穫された小麦の一部も整備された道路を通り、十勝港から本州へ輸送されます。



# 防災に関する地域支援

## 職員派遣による支援

### リエゾン

リエゾンは国土交通省の「現地情報連絡員」の名称です。大規模な災害が発生した場合、又は発生のおそれがある場合に地方自治体等に職員を派遣し、(1)災害情報や開発局への支援要望等の情報収集、(2)災害情報の提供、(3)災害対策用機械など、支援資機材等に関する連絡調整を行います。

帯広開発建設部では、平成28年8月の大雨災害時に、管内の9自治体に延べ70名の職員を派遣しました。



リエゾン活動状況(足寄町)

## 災害対策用機械による支援

災害時の緊急対応や情報通信手段の確保のための各種資機材を配備し、災害時には速やかに出動しています。

これらの資機材は地方自治体等の要請に基づき貸与することが可能です。平成28年8月の大雨災害では、管内市町村の支援として、足寄町の冠水のほか、帯広市、音更町、幕別町、池田町、豊頃町に排水ポンプ車および照明車を出動させ、夜を徹して排水作業にあたりました。また、新得町や清水町の断水では、帯広開発建設部が保有する給水装置付散水車により給水活動を行いました。平成30年9月の北海道胆振東部地震においても厚真町、安平町、日高町の断水対応として給水活動を行いました。

災害時に迅速かつ的確な運用ができるよう、排水ポンプ車を始めとする各種災害対策用機械の運転操作訓練を管内自治体等や建設業協会を対象とした公開訓練を含め、毎年池田町ほか管内で10回程度行っています。

このほか、平成30年度には小学校の授業の一環となる防災意識の向上を目的とした1日防災学校に参加し、照明車の展示とともに災害対策用機械による支援について説明を行いました。

### TEC-FORCE 大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災した地方自治体等の支援を実施します。

平成28年8月の大雨災害では、関東・中国・四国各地方整備局からの応援を受け入れ、また、平成30年7月の西日本を中心とした豪雨では中国・四国地方整備局への支援、平成30年9月の北海道胆振東部地震では地方自治体への支援を行うなど、国土交通省が一丸となつて地域を災害から守ります。



市道の被災状況調査(愛媛県宇和島市)

### ●帯広開発建設部が保有する災害対策用機械(平成31年4月1日現在)

区分	名称	規格	保有台数
情報系	対策本部車	拡幅型	1
	衛星通信車		1
	情報収集車	ヘリテレ受信車	1
	情報通信装置	車載局 映像1回線電話8回線	1
	(Ku-SAT)	可搬式 映像1回線電話1回線	1
	公用ブロードバンド移動通信システム	映像1回線	1
作業系	散水車	給水装置付	1
	排水ポンプ車	30m³/min級	2
		60m³/min級	1
		30m³/min級、高揚程	1
	ポンプ自走装置	半汲み式	1
	排水ポンプユニット		1
	支援装置		1
	照明車	ポール式	2
	土のう造成機	360袋/h	1
支援系	待機支援車	小型4床式	1



排水ポンプ車による排水作業(音更町)

## 事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝ダムを経由して十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010km<sup>2</sup>(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「強靭で持続可能な国土」の形成を目標に、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が生息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。

また、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震等、最近の災害に鑑み実施された総点検結果を踏まえ、甚大な人命被害等が生じるおそれのある河川の堤防の強化対策、樹木伐採や掘削等の対策や、土砂・洪水氾濫により被災する危険性の高い箇所を保全する砂防堰堤の整備等の対策を実施するとともに、迅速な避難につながる河川情報の提供などソフト対策を推進します。

## 河川事業

十勝川流域では、平成22年9月策定の「十勝川水系河川整備計画」(平成25年6月一部改訂)に基づき、洪水を安全に流下させることができるように、堤防等の整備や河道の掘削などの治水対策を計画的に進めてきました。

また、平成28年からは、十勝管内に大きな被害をもたらした台風災害を踏まえた「北海道緊急治水対策プロジェクト」に基づき、ハード対策として災害防止を図るための河道掘削を緊急的・集中的に実施するとともに、防災情報の提供や日常的な訓練といったソフト対策を一体のものとして事業を進めており、今年度もプロジェクトを引き続き展開していきます。

併せて、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を保持するため、堤防の除草や点検、樋門の整備などの維持管理を行っていきます。

## 砂防事業・大規模土砂災害への取組

砂防事業は、洪水時における土砂流出による災害を未然に防止することを目的としています。戸萬別川では土砂流出の抑制・調節を図るための砂防堰堤及び床固工群の整備を行っており、今年度も砂防施設の整備を実施します。

大規模土砂災害への取組として、土砂災害防止法(一部改正)に基づき、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳東麗の火山噴火に起因する土石流などを想定した緊急調査のための訓練を行い、市町村に対しては、住民の避難のために必要な土砂災害緊急情報を通知します。

## ダム事業

十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを実行し、管理の充実を図ります。



## 令和元年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事務所等	事業の概要
河川整備事業	十勝川上流、音更川、札内川等	帯広河川事務所	堤防整備、堤防裏法尻補強等
	十勝川下流、利別川等	池田河川事務所	河道掘削、樹木伐採、樋門改築、堤防天端舗装等
	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所	堤防管理、水閘門等の維持管理、樹木伐採、河川巡視、施設点検等
	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所	水閘門等の応急対策等
堰堤維持	十勝ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所	施設点検・補修、設備更新等
	札内川ダム	帯広河川事務所 札内川ダム管理支所	
砂防事業	十勝川水系(戸萬別川)	帯広河川事務所	堰堤等
災害復旧等関連緊急事業(北海道緊急治水対策プロジェクト)	十勝川	帯広河川事務所 池田河川事務所	河道掘削

## 都市水環境整備事業

十勝川流域では、良好な河川環境、景観を保全するための取組を行っています。

特に札内川は、近年、河道内の樹林化が著しく、かつて河道内で広く見られた礫河原(れきがわら)が急速に減少しており、氷河期の遺存種であるケショウヤナギの生育環境の衰退が懸念されています。また、渡り鳥の繁殖地である礫河原は、十勝川水系の河川性鳥類の生息地としても重要なものとなっています。

このため、ケショウヤナギの生育環境の保全に加え、札内川特有の河川環境・景観を保全するため、流路変動などの河川のかく乱リズムを復活させる取組を行い、礫河原の再生や川の更新環境の回復を図ります。

また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。

## 令和元年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系環境整備事業	十勝川水系札内川	帯広河川事務所	自然再生
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所	水辺整備(かわまち) 帯広市
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備(かわまち) 音更町、池田町、幕別町



## 事業の概要

帯広開発建設部では、十勝管内における高規格幹線道路や一般国道8路線の整備、維持・管理を行っています。

新たな北海道総合開発計画を踏まえ、「食料供給基地としての持続的発展」、「『観光先進国』実現をリードする世界水準の観光地の形成」及び、「強靭な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」等の主要施策を推進することとしており、特に北海道の強みである「食」や「観光」に関連する分野での十勝における成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす「生産空間」・「基礎圈域」の保持・形成を図るための基盤整備、施策を推進します。

## 食料供給基地としての持続的発展

### ●広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進します。

### ●「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

北海道の地方部に広域に分散する「生産空間」を維持するために、「道の駅」を地域の拠点として活用した取組を推進します。

道路ネットワークの形成



北海道横断自動車道の整備  
(足寄～北見、陸別～小利別間)

冬期交通の安全確保



国道38号における除雪作業状況(狩勝峠)

道路の防災対策・震災対策



斜面からの落石を防ぐ 国道336号 襟広防災

## 「観光先進国」実現をリードする世界水準の観光地の形成

### ●「シニックバイウェイ北海道」の推進

ドライブ観光を推進する「シニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的となるよう、秀逸な道について、ドライブ観光への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を推進します。

### ●北海道におけるサイクリングツーリズムの推進

世界水準のサイクリング環境を構築してサイクリングツーリズムを推進するため、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を推進します。

## 強靭な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成

### ●防災・減災、国土強靭化

近年、豪雨や地震などの自然災害が頻発しています。重要インフラ機能確保についての緊急点検結果を踏まえ、特に緊急に実施すべき対策について、「防災・減災、国土強靭化」のための3カ年緊急対策」を総合的に取り組みます。

### ●地震・津波に備えた対策の推進

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替路確保や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

### ●道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって確保するため、各施設の点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進するとともに、地方自治体における老朽化対策への技術的支援等を実施します。

### ●安全な道路交通の確保と災害発生時におけるきめ細やかな地域支援

安全で円滑な道路交通の確保を図るために、気象や交通状況を踏まえた効果的な維持管理、除雪作業を実施します。また、災害発生時においては関係機関と連携強化を図り、自治体への災害対策用資機材の貸与、TEC-FORCEやリエゾンの派遣、重大な災害発生時における緊急調査、わかりやすい防災情報提供等、地域支援を実施します。

### ●無電柱化の推進

震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の形成にむけたまちづくりを支援するため、無電柱化を推進します。

### ●交通安全対策の推進

交通事故データ、地域の声やビックデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプランを推進します。

### シニックバイウェイ北海道

みちをきっかけに地域、企業、行政等が連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取り組みを進めることにより、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを図る「シニックバイウェイ北海道」を平成17年度より開始しています。十勝管内では、3つのルートが活動しています。

十勝シニックバイウェイと主な活動内容

- 指定ルート
- 候補ルート
- 十勝平野・山麓ルート
- トカラチ雄大空間
- 南十勝夢街道
- 不要看板再生事業
- シニックカフェ事業

詳しくはシニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください  
[https://www.hkd.mlit.go.jp/kj/kn/dou\\_kei/ud497000000Out.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/kj/kn/dou_kei/ud497000000Out.html)

### 「道の駅」の活用・充実



モデル「道の駅」  
(地域交通拠点部門)  
「あしょろ銀河ホール21」

「道の駅」等を拠点とした  
自動運転サービス実証実験  
「コスモール大樹」



世界水準の観光地の形成  
基幹ルートで路面標示等の走行環境の整備・改善を推進

### 令和元年度 主な道路事業の概要

広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成	
路線・地区名	主要事業
E61 北海道横断自動車道網走線 E60 帯広・広尾自動車道 (国道236号)	足寄～北見 大樹広尾道路 (忠類大樹～豊似)
道路施設の老朽化対策	
国道38号ほか	橋梁補修
防災対策・震災対策	
国道236号 国道242号 国道336号	野塚防災 足寄橋架替 襟広防災
交通安全対策	
国道241号 国道241号 国道242号	道道上士幌士幌音更線交差点改良 音更大通事故対策(電線共同溝含む) 道道本別留辺蘂線交差点改良

道路の異状を見つけたら… 24時間要付中 道路緊急ダイヤル #9910  
(全国共通番号)

●通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。  
●通行止めの実施時と解除時にメールを配信します。

通行止情報メール配信サービス  
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

## 事業の概要

十勝管内の農業は、明治16年の民間開拓移民団の入植以降、寒冷な気象条件の中、近代技術の導入や主に排水改良の土地基盤整備を進め、現在では、約24万haという恵まれた土地資源(耕地)を活かした大規模な畑作・酪農地帯となっています。

一方で、経営規模の拡大に伴う労働力不足や近年の降雨量の増加に伴う湛水被害、干ばつによる生育不足、施設の適切な保全や更新を行い機能を確保していくことなどの課題があります。これらの課題に対応するため農業農村整備事業を行い地域農業の振興を図っています。

## 国営かんがい排水事業

農地に水を導きその土地を潤す「かんがい」や大雨時の表面水及び湿地の地下水など農地の余分な水を排除する「排水」を行う事業です。

この事業によって、農業用施設の新設や改修を行い、作物の生育しやすい状態に農地の水分をコントロールすることで作物の収量は上がり、質の良い食料を安定生産することができます。

### ●芽室川西地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類の畑作物を主体に、ながいも・スイートコーン等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容: 農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図るため、美生ダム(芽室町)の管理施設の改修や用水路の新設を行います。

### ●上士幌北地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類を主体とした畑作のほか、酪農・畜産の大規模経営が展開されています。

事業内容: 農地の湛水被害による作物生産及び作業効率の低下を防ぐため、排水路の整備を行います。

### ●士幌西部地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類・スイートコーン等を主要作物とした「生産から加工流通まで」の一貫した産地体制を目指す大規模経営が展開されています。

事業内容: 農地の湛水被害による作物生産及び作業効率の低下を防ぐため、排水路の整備を行います。

### ●富秋士幌川下流地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類・スイートコーン・にんじんを中心作物とした自然と土地資源を活かした農業経営が展開されています。

事業内容: 農地の湛水及び湿潤被害による作物生産や作業効率の低下を防ぐため、排水路の整備を行います。

### ●札内川地区

地区概要: 十勝川水系札内川流域に拓けた約2万haの農地に小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類の畑作経営や酪農経営が展開されています。

事業内容: 農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図るため、用水路の機能を保全する整備を行います。



農地の湛水被害解消に向けて排水路を整備中  
(士幌西部地区 士幌町)



工事が完了した排水路(士幌西部地区 士幌町)



用水の安定供給に向けて管の布設作業  
(札内川地区 中札内村)

## 調査計画地区

### ●新川二期地区

地区内の上統内排水機場は、造られてから30年以上経ち、排水能力の不足やポンプ機器等の老朽化が進行しています。このため、周辺農地における湛水被害や排水機場の維持管理費が増大していることから、農業生産性の向上や農業経営の安定を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

### ●十勝川左岸二期地区

地区内では近年の営農状況の変化に伴い用水利用に変化が生じているほか、現況の排水施設では排水能力不足により周辺農地で湛水被害が発生しています。

また、用排水施設では老朽化等により、維持管理に苦慮しています。このため、農業生産性の向上や農業経営の安定を図るために、事業の実施に向けた調査計画を進めます。

### ●令和元年度 農業農村整備事業の概要

#### 1. 実施地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	芽室川西	帶広農業事務所	帯広市、芽室町	20,623ha	ダム(改修)1箇所 用水路27条
	上士幌北	鹿追地域農業開発事業所	士幌町、上士幌町、足寄町	2,574ha	排水路4条
	士幌西部	鹿追地域農業開発事業所	士幌町	1,679ha	排水路4条
	富秋士幌川下流	鹿追地域農業開発事業所	士幌町、音更町	2,283ha	排水路5条
	札内川	帶広農業事務所	帯広市、中札内村、更別村、幕別町	19,570ha	用水路1条

#### 2. 調査計画地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	新川二期	農業計画課	豊頃町、幕別町	1,651ha	排水機場1箇所
	十勝川左岸二期	農業計画課	音更町、清水町、芽室町	6,070ha	ダム(改修)1箇所 用水路26条、排水路2条

# 管内の概況

## 位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯42°09'～43°38'、東経142°40'～144°02'に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に拓けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

十勝地方の気候は、太平洋側気候とも呼ばれ、沿岸部を除き内陸性で、帯広市の年間の平均気温は7.1℃です。降水量は約940mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,015時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

		気象数値													
事項		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
帯 広	気温(℃)	最低	-13.2	-11.9	-5.4	0.8	6.1	10.6	15.0	16.5	12.7	5.2	-1.0	-8.8	2.2
	最高	-1.5	-0.1	4.7	12.2	18.0	21.3	24.3	25.3	21.9	15.9	8.5	1.1	12.6	
	平均	-7.0	-5.6	-0.4	6.0	11.5	15.1	18.9	20.3	16.8	10.3	3.6	-3.7	7.1	
	降水量(mm)	40.8	28.0	44.1	62.3	85.7	84.7	107.2	142.5	145.3	82.7	60.1	56.2	939.5	
	日照時間(hr)	187.2	191.7	217.3	191.5	187.8	150.2	123.9	126.0	135.9	167.8	164.6	171.0	2,014.7	
	札幌平均気温(℃)	-3.3	-2.6	1.1	7.3	12.8	17.0	21.0	22.3	18.5	12.1	5.3	-0.8	9.2	
東京平均気温(℃)		6.1	6.7	9.8	14.9	19.2	22.4	26.4	27.5	24.1	18.8	13.6	8.7	16.5	

※平成元年～平成30年(1989～2018)の30ヶ年平均(気象庁ホームページから帯広開発建設部作成)

## 面積・人口・土地利用

十勝管内は、1市16町2村で構成され、東西110.4km、南北163.3kmにおよび、総面積10,831.62km<sup>2</sup>で全道の約13%を占め、振興局ごとの面積では第1位となります。また、全国との比較では都道府県面積で第6位の秋田県と第7位の岐阜県の間に位置します。

総人口は、342,668人で、うち地域経済の中心である帯広市に人口の約49%の167,653人が集中しています。

土地の利用面積は、山林が4,564km<sup>2</sup>(42.1%)と最も広く、次に畑の2,415km<sup>2</sup>(22.3%)、牧場の296km<sup>2</sup>(2.7%)と続き、田は21km<sup>2</sup>(0.2%)とわずかです。

※面積は、平成30年10月1日現在の全国都道府県市町村別面積調(国土地理院)。

なお、然別湖は水面が境界未定のため、上士幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積に含まれる)。

※人口は、平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口(北海道総合政策部)。

※土地利用は、平成28年1月1日現在の固定資産の価格等の概要調査(北海道総合政策部)。

## 産業

### 農業

十勝農業は、経営耕地総面積約24万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数14.2%、耕地面積22.4%、乳用牛頭数28.1%、肉用牛頭数45.7%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は43.4ha(全道平均27.6ha)、専業農家率は82.3%(全道平均69.8%)と大規模な専業農業地帯となっています。

平成28年度の農業産出額は、2,869億円となっています。

※2015農林業センサス(北海道総合政策部情報統計局統計課)、平成28年市町村別農業産出額(農林水産省)

#### ●十勝で収穫される主な作物(収穫量)の全国シェア

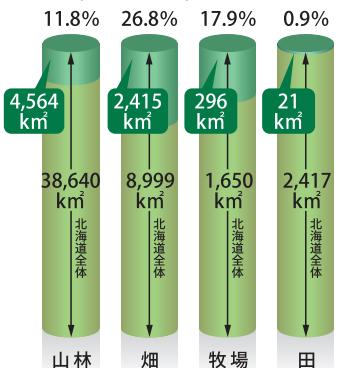
区分	てんさい	ばれいしょ	小麦	大豆	小豆	いんげん
全国	3,901千t	2,048千t	907千t	253千t	30千t	6千t
十勝	1,814千t	735千t	270千t	28千t	18千t	4千t
全国シェア	47%	36%	30%	11%	60%	67%

※農林水産省「作物統計(H29年産)」、北海道農政事務所「北海道農林水産統計(H29年産)」(小豆、いんげんは平成28年度産)

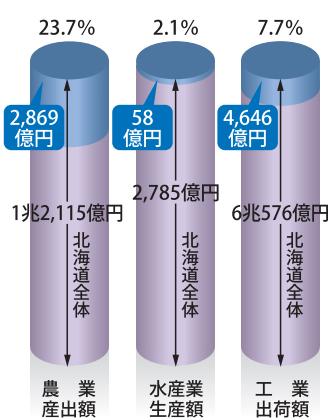
#### ●十勝の全道に占める面積と人口の割合



#### ●十勝の土地利用構成比(全道シェア)



#### ●十勝の産業別全道シェア



### 林業

十勝管内の森林面積は、およそ691千haで全道森林面積の12.5%を占めており、上川、オホーツク管内に次ぐ主要な森林地帯を形成しています。また、十勝の総土地面積に対する森林面積の割合は63.8%を占めています。森林の所有者別では、国有林が60.2%、民有林は39.8%となっています。

惠まれた森林資源を背景に林業は管内の主要な産業のひとつとなっており、地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組を進め、森林資源の循環利用を促進しています。

平成28年の伐採材積は、1,107千m<sup>3</sup>となっています。

※平成28年度北海道林業統計(北海道水産林務部)

### 水産業

十勝管内の漁業は、寒流と暖流が接した好漁場の道東太平洋におけるサケ・マス、タラ、シシャモ、イカ、ツブ等を主体とした沿岸・沖合漁業です。

拠点となる漁港には、広尾町の十勝港(漁港区)・音調津漁港、大樹町の旭浜漁港・大樹漁港、豊頃町の大津漁港及び浦幌町の厚内漁港があります。各漁港で整備事業が進められており、今後の発展が期待されています。

平成29年の生産高は、3.8万t、生産額は58億円となっています。

※平成29年度北海道水産現勢(北海道水産林務部)

### 工業

十勝管内の工業は、食料品製造業、飲料・飼料製造業、木材・木製品製造業など、第一次産業に深く結びついた地場資源利用型工業が主体となっています。

平成28年の年間製造品出荷額は、4,646億円となっています。

※平成29年工業統計調査(経済産業省)

# 管内市町村の概要

■地名の由来…「」内はアイヌ語



## ●面積 / 619.34km<sup>2</sup> ●人口 / 167,653人

十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能とが調和する田園都市。また「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フードパレードかち」を十勝全体で推進している。世界で唯一の「ばんえい競馬」開催や「お菓子のまち」としても有名。

- 地名の由来/「オベレレケブ」(川口がいくつにも分かれている川の意)から転訛。
- 観光名所/八千代牧場、岩内仙峡、幸福・愛国駅、ばんえい競馬、緑ヶ丘公園、北の屋台、紫竹ガーデン、真鍋庭園など。



## ●面積 / 466.02km<sup>2</sup> ●人口 / 45,032人

日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定された「モール(植物性)温泉」で知られる「十勝川温泉」などがある。

- 地名の由来/「オトブケ」(毛髪が生るという意味)から転訛。
- 観光名所/十勝が丘公園(花時計ハナック)、十勝が丘展望台(シーニックカフェ)、十勝牧場展望台、白樺並木、道立十勝エコロジーパーク、十勝川温泉、柳月スイートビアガーデンなど。



## ●面積 / 259.19km<sup>2</sup> ●人口 / 6,214人

畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積約60%が農用地という全国有数の農業の町。特にじゅうまいの加工施設は国内有数で、生産者還元用の限定商品であるボテチップスが有名。牛肉飼育頭数は日本一の水準を誇る。

- 地名の由来/「シュウワローザ」(広大な土地の意)から転訛。
- 観光名所/道の駅ビア21しほろ、モール温泉かけ流しのしほろ温泉、雲海の見える士幌高原など。



## ●面積 / 694.23km<sup>2</sup> ●人口 / 4,988人

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場に加え、熱気球の町としても全国的に有名なまち。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。

- 地名の由来/士幌村から分村の際、士幌川の上流に位置することから名付けられた。
- 観光名所/ナイタイ高原牧場、三国峠、糠平湖、ぬかびら源泉郷、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)、ひがし大雪自然館など。



## ●面積 / 402.88km<sup>2</sup> ●人口 / 5,503人

幻想的な然別湖を有し、夏は白蛇姫まつり、冬は「しかりべつ湖コタン」が開かれ、四季を通じて賑わっている。神田日勝記念美術館、ライディングパーク、農業体験のファームインなどでリフレッシュのできるまち。

- 地名の由来/「カケクシ」(シカ捕り柵のあるところの意)の和訛から。
- 観光名所/然別湖、神田日勝記念美術館、鹿追町ライディングパークなど。



## ●面積 / 1,063.83km<sup>2</sup> ●人口 / 6,292人

農業、林業を主産業とするまち。良質なそばの産地として有名。特産品は新得そば、ナチュラルチーズ、鹿肉、新得地鶏、そば焼酎、しんとく焼など。狩勝高原を中心に、乗馬、スキー、ラフティング等を楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町村では全国初の手話に関する基本条例を施行。

- 地名の由来/「シットカナイ」(山の肩・端)、「ントコ」(酒造りの漆器)から転訛。
- 観光名所/狩勝峠、トムラウシ温泉、くつたり温泉、サホロリゾート、ペア・マウンテン、クラブメッド北海道サホロ、そばロードなど。



## ●面積 / 402.25km<sup>2</sup> ●人口 / 9,597人

日勝峠の東側に位置するまちで、「日勝峠展望台」など眺めの良い場所が多く存在する。ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」は、新・ご当地グルメグランプリ北海道で3連覇を果たし、殿堂入りしている。

- 地名の由来/「ペケレベツ」(きれいな川の意)の和訛から。
- 観光名所/清水公園(展望パークゴルフ場)、日勝峠展望台、清水円山展望台、美蔓パンラマパーク、十勝千年の森など。



## ●面積 / 513.76km<sup>2</sup> ●人口 / 18,734人

小麦、馬鈴しょ、小豆、てん菜、スイートコーンの作付面積、収穫量が道内でもトップクラスのまち。また、ゲートボール発祥の地であり、全国大会が開かれている。

- 地名の由来/「メム・オロベツ」(わき水のところの川の意)から転訛。
- 観光名所/新嵐山スカイパーク、芽室公園、花菖蒲園、みのりーむなど。



## ●面積 / 292.58km<sup>2</sup> ●人口 / 3,958人

日高山脈中央部を源とする清流「札内川」流域に広がるまち。美しい農村景観や、枝豆や卵などの農畜産物を求める多くの観光客が訪れている。平成28年に日本で最も美しい村連合に管内で初めて加盟した。

- 地名の由来/「サナナイ」(乾いた川の意)から札内川の中流に位置するので「中」を冠した。
- 観光名所/ピヨタウンの滝(札内川園地)、中札内美術村(小泉淳作美術館、相原求一朗美術館)、六花の森、花畠牧場など。



## ●面積 / 176.90km<sup>2</sup> ●人口 / 3,235人

国内最大級の大規模機械化農業経営の村。村内にあるどんぐり公園すもの里は約3haの広大な敷地に1,000本を超えるすももの木が春の訪れを告げる。また、54ホールの公認パークゴルフ場やオートキャンプ場などの施設も整備されている。

- 地名の由来/「サラ・ベツ」(葦・茅の生い繁るところの意)に更別の漢字を当てたもの。
- 観光名所/さらべつカントリーパーク、どんぐり公園、十勝スピードウェイなど。



## ●面積 / 815.68km<sup>2</sup> ●人口 / 5,650人

航空宇宙技術開発に関する実験が行われている宇宙のまち。「大樹町宇宙交流センターSORA」では、実験の様子を映像やパネルで見学できる。過去何度も日本一の清流に選ばれている「歴舟川」では、砂金堀体験やカヌー下りを楽しめる。

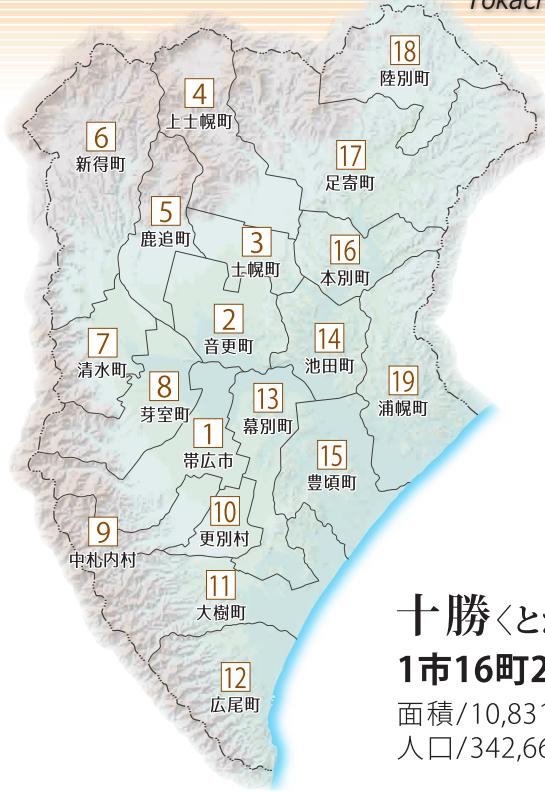
- 地名の由来/「タイキウシ」(森林が繁茂するところの意)から転訛。
- 観光名所/晚成温泉、カムイコタン、坂下仙峽、ホロカヤントー周辺など。



## ●面積 / 596.54km<sup>2</sup> ●人口 / 7,030人

十勝の海の玄関「十勝港」とともに発展を目指し、ノルウェーオスロ市から、国外唯一の「サンタランド」として認定されたまちとして全国的に有名。国道336号沿いには、直接道路脇を流れ落ちる「フンペの滝」がある。

- 地名の由来/「ビルイ」(ビは石が転がる、ルイは磁石がとれる地の意)から転訛。
- 観光名所/シーサイドパーク広尾、大丸山森林公園(ひろおサンタランド)、フンペの滝、黄金道路、天馬街道など。



## 十勝<とかち>

### 1市16町2村

面積 / 10,831.62km<sup>2</sup>  
人口 / 342,668人



## ●面積 / 477.64km<sup>2</sup> ●人口 / 27,068人

「パークゴルフ」発祥の地。パークゴルフは、年齢を問わず誰もが気軽に楽しめるスポーツとして世代を超えて広がりを見せ、海外にもコースができるほどの人気を博している。ナウマン象化石の発見で有名な忠別地区には、ナウマン温泉アルコ236、道の駅「忠類」、白銀台スキー場などの施設がある。

- 地名の由来/「マクンベツ」(山の間にある川の意)から転訛。
- 観光名所/ピラ・リ(明野ヶ丘公園)、十勝ヒルズ、ナウマン象記念館、丸山展望台など。



## ●面積 / 371.79km<sup>2</sup> ●人口 / 6,875人

ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」のふるさと。小高い丘に建つワイン城では、やすしく、分かりやすくワインの知識を提供するため、「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

- 地名の由来/池田侯爵が開設した池田農園の名称をとり池田とした。
- 観光名所/ワイン城、十勝まさばの家、千代田えん堤、DCT garden IKEDAなど。



## ●面積 / 536.71km<sup>2</sup> ●人口 / 3,212人

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。まちのシンボルとなっている樹齡約150年の「はるはれ」は、2本の木が一体化し美しい形を作っている。1月中旬から2月下旬に大津海岸で見られる「ジュエリーアイス」は、凍結した十勝川の氷が割れて海へと流れ、砂浜に打ち上げられたもので、道内外の写真家はもとより海外からの観光客から注目されている。

- 地名の由来/「トハ・コロ」(大きなふきの意)から転訛など諸説あり。
- 観光名所/はるはれの木、よころ物産直売所、長節湖、湧洞沼、茂岩山森林公園など。



## ●面積 / 391.91km<sup>2</sup> ●人口 / 7,254人

本別生まれの「中生光黒大豆」を使った加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が、2月には節分をテーマにした「豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要所となっている。

- 地名の由来/「ボン・ベツ」(小さな川の意)から転訛。
- 観光名所/本別公園(慈義館の館)、ボート、ゴーカート、キャンプ場など、道の駅「ステラ★ほんべつ」、旧ふるさと銀河線跨線橋など。



## ●面積 / 1,408.04km<sup>2</sup> ●人口 / 7,061人

林業と農畜産物が主産業のまち。町内に自生する高さ2~3mの巨木なフキ「櫛湾(らわん)」ブリキは北海道遺産に登録されている。道の駅「あしょろ銀河ホール21」は平成29年度に国土交通省からモデル「道の駅」(地域交通拠点部門)に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。

- 地名の由来/「エヨロ・ベツ」(沿って下る川の意)から転訛。
- 観光名所/銀河の森天文台、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、闘阿寒温泉、芽登温泉など。



## ●面積 / 608.90km<sup>2</sup> ●人口 / 2,442人

酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度にもなる日本一寒い「はれ」のまち。寒さを体感するイベント「しばれエスティバル」は全国的に也有名。「星空にやさしい街10選」に認定されており、銀河の森天文台には一般公開型としては日本最大級である15cmの大型望遠鏡がある。

- 地名の由来/「リクンペツ」(高いところにある川の意)から転訛。
- 観光名所/銀河の森天文台、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、闘阿寒温泉、陸別サギ塗など。



## ●面積 / 729.85km<sup>2</sup> ●人口 / 4,870人

十勝最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている。海岸線には自然の花畑である「豊北原生花園」や広大な太平洋を見下ろせる「昆布刈石海岸」などもあり、自然豊かなまち。「うらほろ留真温泉」はアルカリ性の高い温泉を持ち、良質な温泉として評判。

- 地名の由来/「オララボロ」(川尻に大きな葉が生育する所の意)から転訛。
- 観光名所/うらほろ留真温泉、うらほろ森林公園、昆布刈石展望台、豊北原生花園など。

# 帯広開発建設部の機構

Tokachi 2019

## ●本部

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目 第2地方合同庁舎

**総務課** 情報公開、職員管理

**経理課** 予算経理、出納、国有財産・物品の管理・処分

**契約課** 入札・契約

**技術管理課**  
**技術検査官** 環境・建設副産物、品質確保、技術管理  
**工事品質管理官**

**用地課** 事業用地の取得

**公物管理課** 公共用財産の管理

**施設整備課** 機械・電気・通信設備の整備・管理、営繕事務

**治水課** 十勝川水系の河川整備・維持  
**特定治水事業対策官**

**道路計画課** 国道整備・保全の計画  
**特定道路事業対策官**

**道路整備保全課** 国道整備・保全の実施  
**道路防災推進官**

**農業計画課** 農業農村整備の計画

**農業整備課** 農業農村整備の実施

**広報官** 広報、意見・要望窓口

**防災対策官** 防災業務

**地域振興対策室** 地域づくりの推進

**土地改良情報対策官** 農業農村整備の広域調査

## 部長 次長

### 調査官

### 技術管理官

## ●事務所

### ■帯広河川事務所

〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6

十勝川、札内川、音更川等の整備、維持及び管理  
十勝ダム、札内川ダムの維持管理  
及び当該ダムに係る河川管理

### ●十勝ダム管理支所

〒081-0154 上川郡新得町字屈足トマラウシ

### ●札内川ダム管理支所

〒089-1374 河西郡中札内村南札内73番地2

### ■池田河川事務所

〒083-0032 中川郡池田町字利別東町

十勝川、利別川、猿別川等の整備、維持及び管理

### ■帯広道路事務所

〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6

一般国道38・236(帯広・広尾自動車道)・241・274号の整備、維持修繕及びその他の管理

### ■広尾道路事務所

〒089-2624 広尾郡広尾町並木通東2丁目5番地

一般国道236・336号の整備、維持修繕及びその他の管理

### ■足寄道路事務所

〒089-3718 足寄郡足寄町栄町1丁目43番地

一般国道241・242・273・274号・北海道横断自動車道(足寄～陸別)の整備、維持修繕及びその他の管理

### ■帯広農業事務所

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目第2地方合同庁舎

芽室川西地区及び札内川地区的農業農村整備事業に係る工事

## ●事業所

### ■鹿追地域農業開発事業所

〒081-0212 河東郡鹿追町泉町1丁目

上士幌北地区、士幌西部地区及び富士幌川下流地区的農業農村整備事業に係る工事

●所長 - 副長

## ●帯広開発建設部本部・事務所等の電話番号一覧

本部	電話番号	事務所・事業所	電話番号
総務課	☎0155-24-2901	帯広河川事務所	☎0155-25-1294
経理課	☎0155-24-2902	十勝ダム管理支所	☎0156-65-3121
契約課	☎0155-24-2903	札内川ダム管理支所	☎0155-69-4666
技術管理課・技術検査官・工事品質管理官	☎0155-24-2904	池田河川事務所	☎015-572-2661
用地課	☎0155-24-2905	帯広道路事務所	☎0155-25-1250
公物管理課	☎0155-24-4102	広尾道路事務所	☎0155-82-3148
施設整備課	☎0155-24-4103	足寄道路事務所	☎0156-25-2601
治水課・特定治水事業対策官	☎0155-24-4105	帯広農業事務所	☎0155-24-3196
道路計画課・特定道路事業対策官	☎0155-24-4106	鹿追地域農業開発事業所	☎0156-66-2101
道路整備保全課・道路防災推進官	☎0155-24-4104	<b>十勝港及び大津漁港の事業については以下にお問い合わせください。</b>	
農業計画課	☎0155-24-3192	釧路開発建設部築港課	☎0154-24-7326
農業整備課	☎0155-24-3191	釧路港湾事務所	☎0154-51-4381
広報官	☎0155-24-3193	<b>電話番号は帯広開発建設部HPで確認いただけます</b>	
防災対策官	☎0155-24-3194	<a href="http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html">http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html</a>	
地域振興対策室	☎0155-24-3195	トップページ下の <b>ダイヤルイン案内</b> をクリック	
土地改良情報対策官	☎0155-24-3192		

表紙の写真【治水】十勝平野を潤す十勝川(帯広市・音更町・幕別町上空)【道路】平成28年の台風で被災した清見橋の復旧(清水町)  
【農業】春の十勝の農場風景